

行政報告資料
2017年3月15日・16日
学校教育部施設課

町田市立町田第一中学校改築工事基本設計について

町田第一中学校の改築につきまして、基本設計を行いましたので、別紙のとおり報告いたします。

基本設計書 (抜粋)

概要 (既存校舎と新校舎との比較)

比較項目	変更内容
①校舎面積	7288㎡→約 11000㎡
②構造	鉄筋コンクリート 4階建て (一部 3階) →変わらない
③普通教室数	22室→24室 (少人数教室は含まない)
④特別支援学級	4室→7室
⑤特別教室	14室→変わらない
⑥武道場	0→1室

※これらは予定であり実施設計にて変更となる可能性があります。

既存校舎



敷地：町田市立町田第一中学校

新校舎(想定)



敷地：町田市立町田第一中学校

1. 基本方針

(1) 基本コンセプト

「地域と共に生涯にわたり協力し合い、共に成長してゆける身近な公共施設」

A [教育力の向上に寄与する施設]

①「集中できる環境」×「開放性のある校舎」によるメリハリある教室環境

集中できる環境 ⇒ 防音対策(サッシ等)、採光確保、視線や掲示を考慮した計画
開放性のある校舎 ⇒ 校舎中央の中庭を望める計画

②「一体的な施設計画」×「エリア分けによる利用性向上」による特別支援環境

一体的な施設計画 ⇒ 一体的な校舎計画による関係づくり、特別支援利用を考慮したEV仕様
エリア分けによる利用性向上 ⇒ 肢体・知的・特別教室の3エリアによる平面計画、利用性を考慮した諸室配置

B [安全かつ防災機能を有する施設]

③「耐震性・耐久性の確保」×「大空間の確保」による災害対応

耐震性・耐久性の確保 ⇒ 耐震構造・計画供用期間を「長期」とした躯体耐久性の確保
大きな空間の確保 ⇒ 体育館・武道場・中庭・交流エリア・大会議室の5つの大空間による災害・避難所対応

④「口の字型校舎」×「明確な動線計画」による防犯対応

口の字型校舎 ⇒ 行き止まりのない廊下や中庭を介して校舎全体を把握できるなど死角のない計画
明確な動線計画 ⇒ 動線集約・フェンス/緑地を用いた外構計画・防犯カメラ等の設備計画による防犯対策

C [環境負荷低減に寄与する施設]

⑤「自然エネルギーの利用」×「環境学習の整備」による環境に優しい施設

自然エネルギーの利用 ⇒ 太陽光発電設備や雨水(トイレ・校庭散水)利用の整備
環境学習の整備 ⇒ 発電量の見える化や屋上緑化整備による環境学習空間の確保

⑥「断熱性の向上」×「高効率機器・器具の採用」によるランニングコストの低減

断熱性の向上 ⇒ 断熱材の性能に加え、屋上緑化によるヒートアイランド対策
高効率機器・器具の採用 ⇒ 高効率の空調機器や節水型の衛生器具の採用

D [地域とのつながり]

⑦「地域開放諸室の拡大」×「利用エリアの集約」による日常的な地域開放対応

地域開放諸室の拡大 ⇒ プール・体育館棟に加え、新校舎内の多くの諸室を地域開放諸室として選定
利用エリアの集約 ⇒ 主とする開放階を設け、管理・運営しやすい計画

⑧「交流エリアの設置」×「中庭利用」による一時的な地域開放対応

交流エリアの設置 ⇒ 昇降口前にあり、利用しやすい位置に大空間を計画
中庭利用 ⇒ 外部から直接中庭にアクセスできる計画

(2) 設計条件

- ・本計画は、既存プール・体育館棟を存置させながら全面的に建て替えるものである
- ・学校を運営しながら、事前に仮設校舎を建設し、順次、新校舎を建設していく計画である。
- ・生徒、教師、父兄、近隣住民等の工事の負担を最小限に抑え、安全に対して最大限配慮した計画とする。

2. 配置・平面計画方針

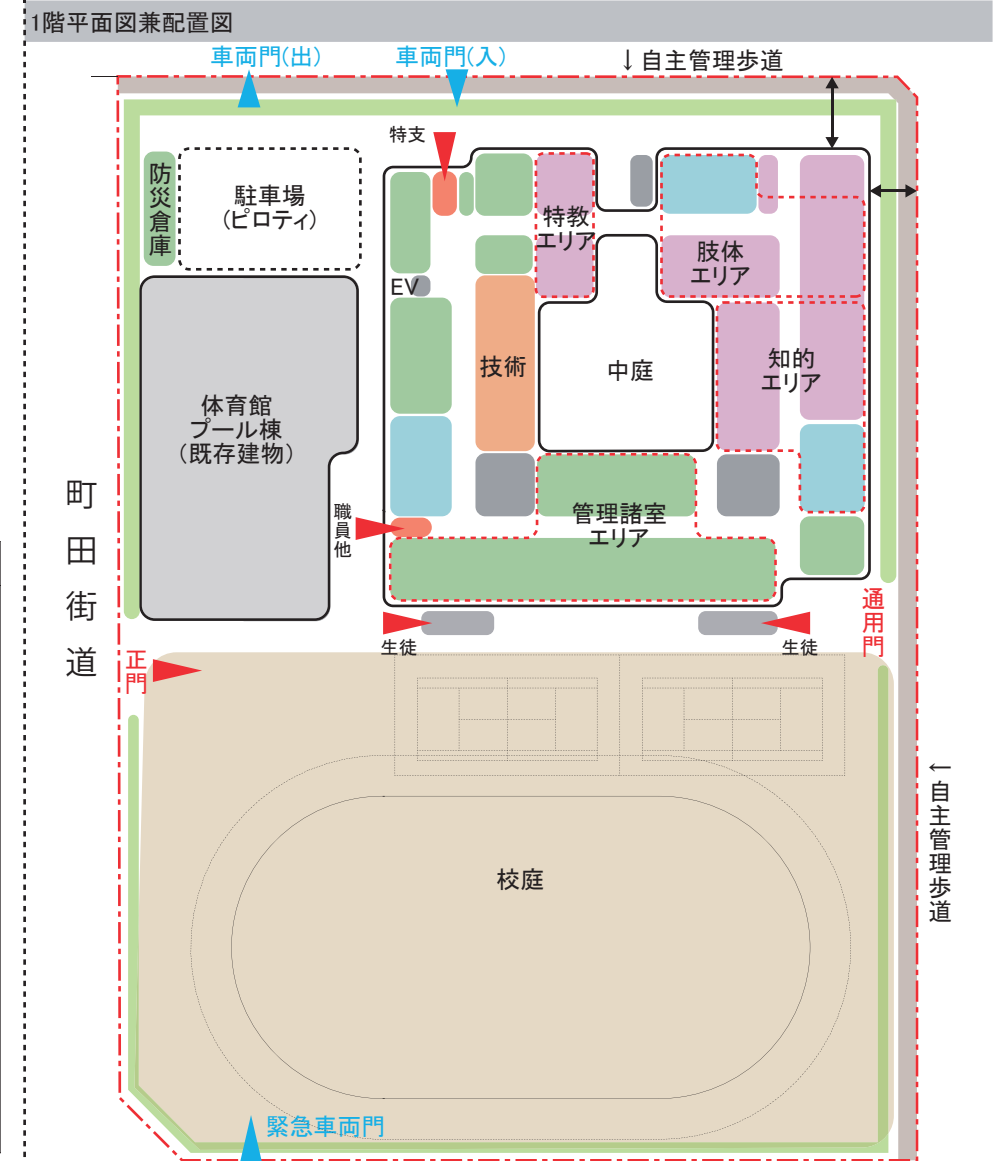
(1) 配置計画

- ・新校舎は、既存校舎と同じ配置とし、校庭面積を出来る限り広く確保する。
- ・プール・体育館棟は既存建物を利用する。
- ・周囲への影響(日影・圧迫感)を考慮し、道路境界から校舎までの離隔を十分に確保する。
- ・既存正門(西)及び通用門(東)を設け、出入口を2つに集約し管理しやすい計画とする。
- ・北西角部1階をピロティ上とし、車両動線の集約化を図る。
- ・北側及び東側の敷地内に自主管理歩道2.0m(歩道状空地)を設置し、登下校時の安全性を確保する。
- ・敷地外周は緑化(植栽)を行い、周囲への景観配慮・校庭の砂埃飛散防止を行う。
- ・既存同様200mトラック、テニスコートを2面を確保するが、一部重複する計画となる。
- ・校庭や外構部には、新校舎以外に建屋の設置は行わない。

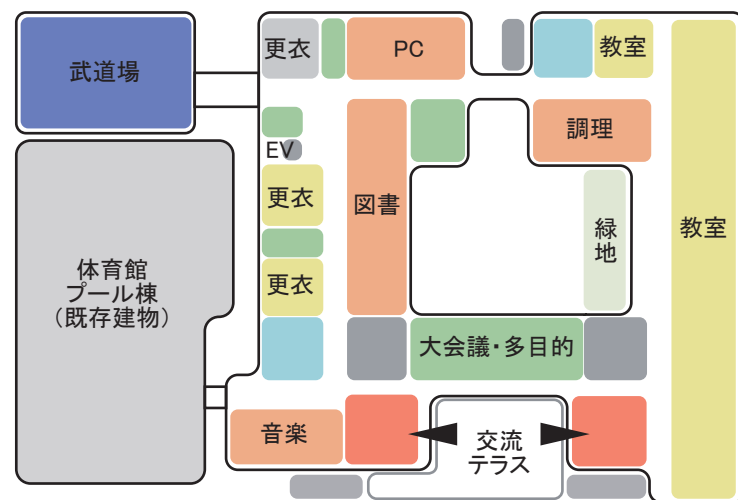
(2) 平面計画

- 1-1) 管理諸室(1F南・各所)
 ・1階南側に集約し設ける。2F中央に大会議室兼多目的室を配置し、多目的利用が可能な計画とする。
- 1-2) 特別支援(1F北・東)
 ・肢体エリア/知的エリア/特教エリアと3つに分けて諸室を集約する。
- 1-3) 普通教室(2F東・3/4F南)
 ・2Fは東向、3/4階は南向きとし、採光を確保する。
- 1-4) 特別教室(1F・2/3F各所)
 ・武道場・体育館含め、地域開放諸室を2階へ集約する。主に2F・3Fに配置することで生徒がアクセスしやすい計画とする。
- 1-5) 武道場(2F)
 ・他の諸室から離れた位置に設け、授業への影響や利用動線を考慮した配置とする。
- 1-6) 昇降口・交流テラス
 ・生徒用昇降口は2階中央に配置し、昇降口前には交流テラスを設ける。
- 1-7) 中庭
 ・校舎中央に中庭を設け、採光・通風に寄与する計画とする。中庭側に緑地や吹抜を設け、校舎内の開放性に寄与する計画とする。

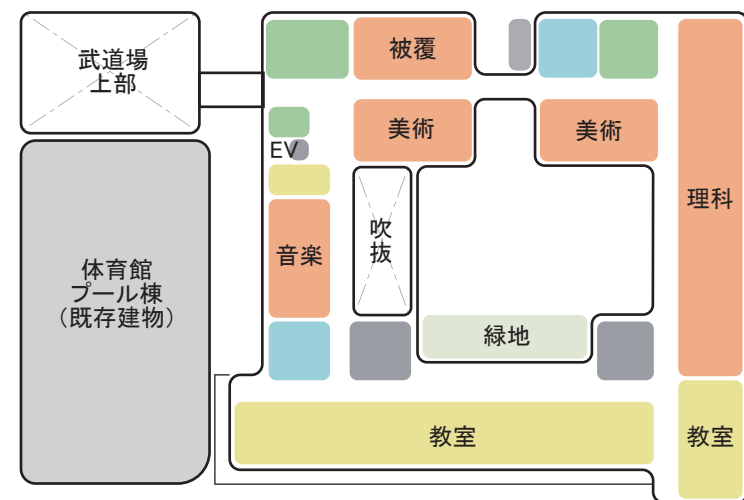
(3) 配置・平面計画図



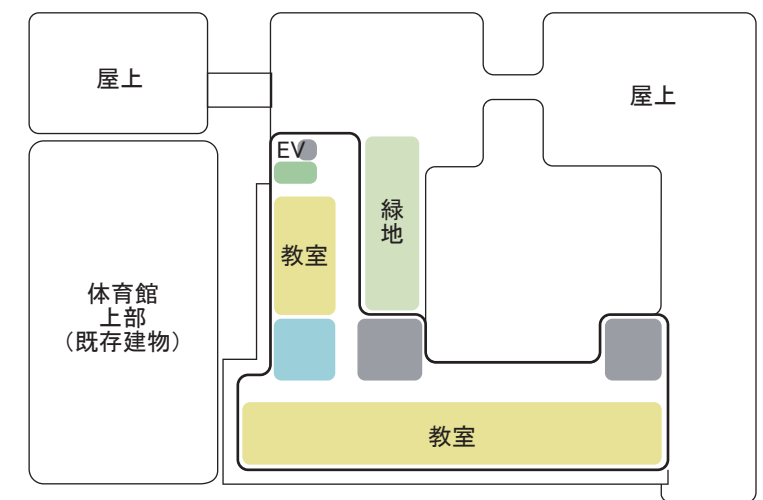
2階平面図



3階平面図



4階平面図



3. 断面計画方針

(1) 断面計画

1-1) 新校舎

- ・階高(1F)
体育館・プール棟に接続する2FLで段差のない階高とする。
1FLは、スロープの設置を行い、外構アプローチ空間から段差を解消する計画とする。
- ・階高(2-4F)
天井高2.7m確保できる高さを設定する。
- ・屋根形状
陸屋根とする。

1-2) テラス(中庭側)・バルコニー

- ・中庭に面するルーフバルコニーは、屋上緑化を行う。
- ・普通教室前(少人数・予備含)及び避難上必要な位置にバルコニー(庇共)を設ける。
- ・南側等、日射遮蔽が必要な位置にバルコニー(庇共)を設ける。
- ・その他の部分にバルコニーは設置せず、建具無目等により転落防止対策を行う。

1-3) 武道場

- ・屋根形状
周囲への圧迫感の抑制の為、切妻屋根とする。
- ・天井高
最も低い位置(端部)で4.5m以上確保する。

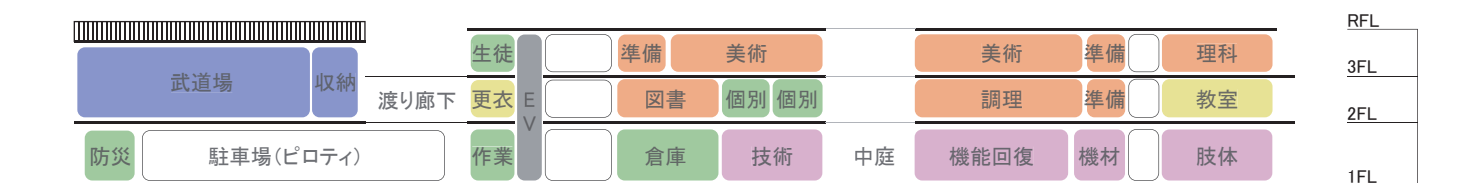
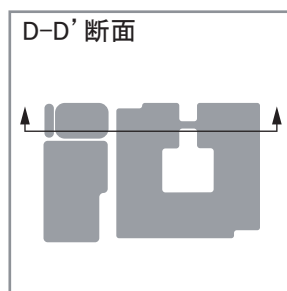
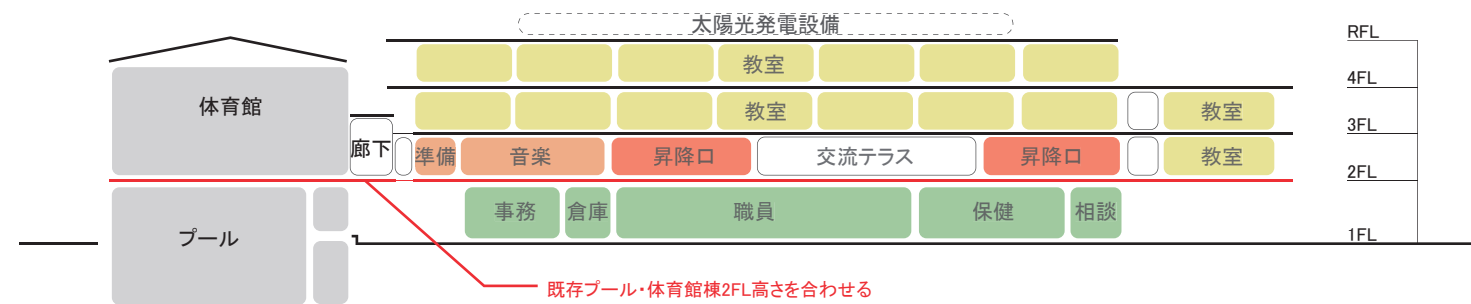
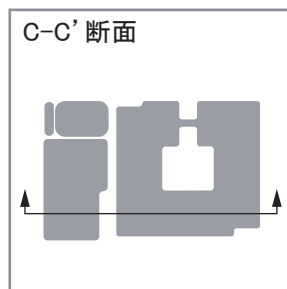
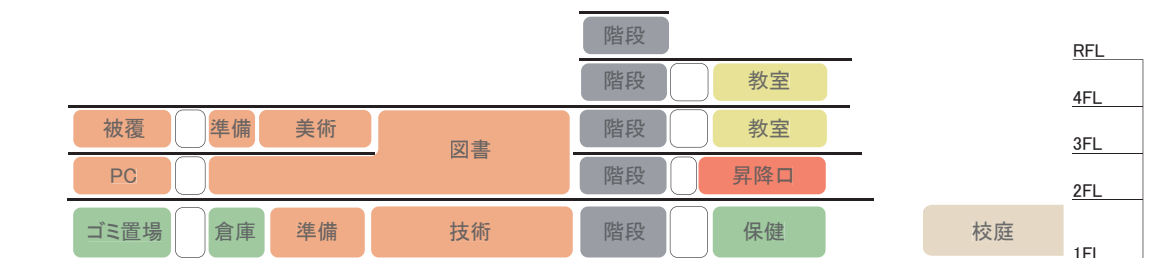
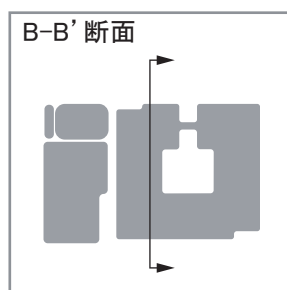
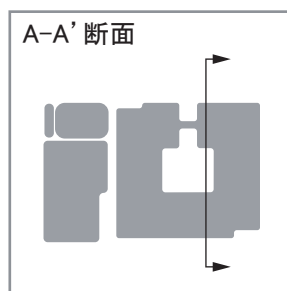
1-4) 屋上

- ・3F屋上を室外機置場とする。
- ・4F屋上を太陽光発電設備置場とする。

1-5) その他

- ・吹抜
図書館は吹抜空間を有し、開放性の高い空間とする。
- ・天井
室面積200㎡以上、天井高6m以上に該当するは、耐震天井等の設置を行う。
特定天井以外の非構造部材の耐震化は検討を行う。

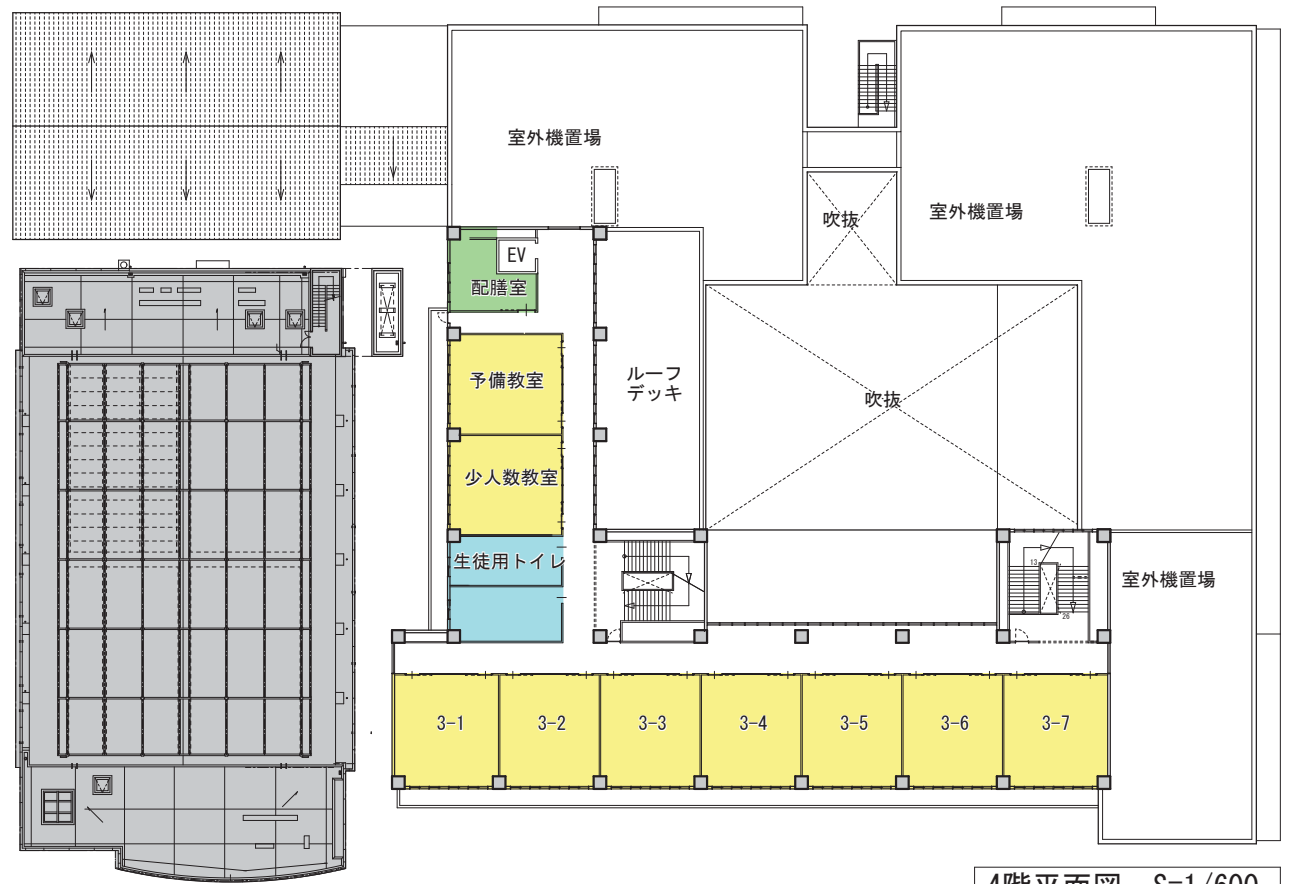
(2) 断面計画図



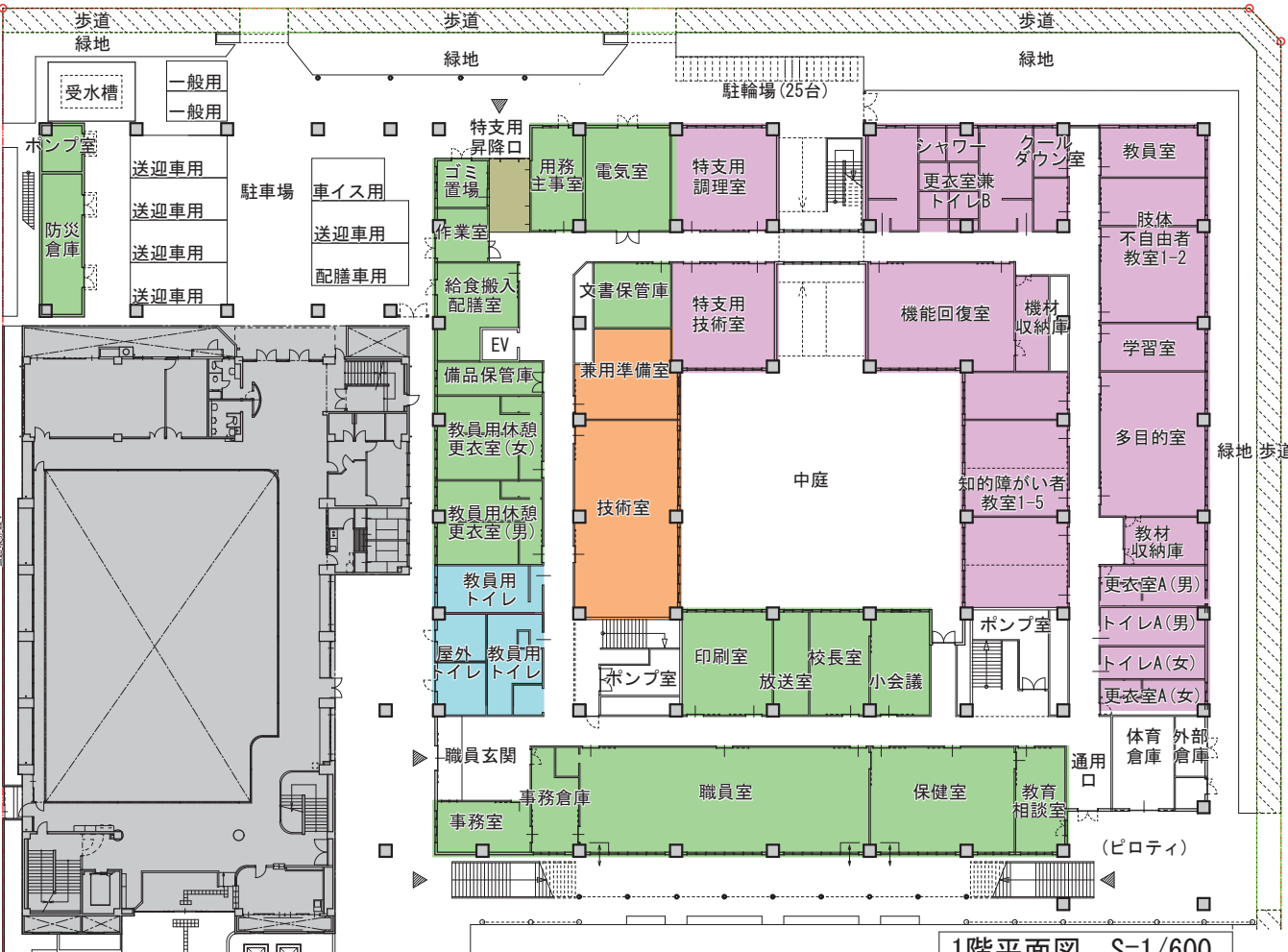
凡例	
■	普通教室
■	特別教室
■	特別支援
■	管理諸室
■	武道場
■	トイレ
■	階段・EV
■	廊下
■	昇降口
■	プール・体育館棟
■	校庭



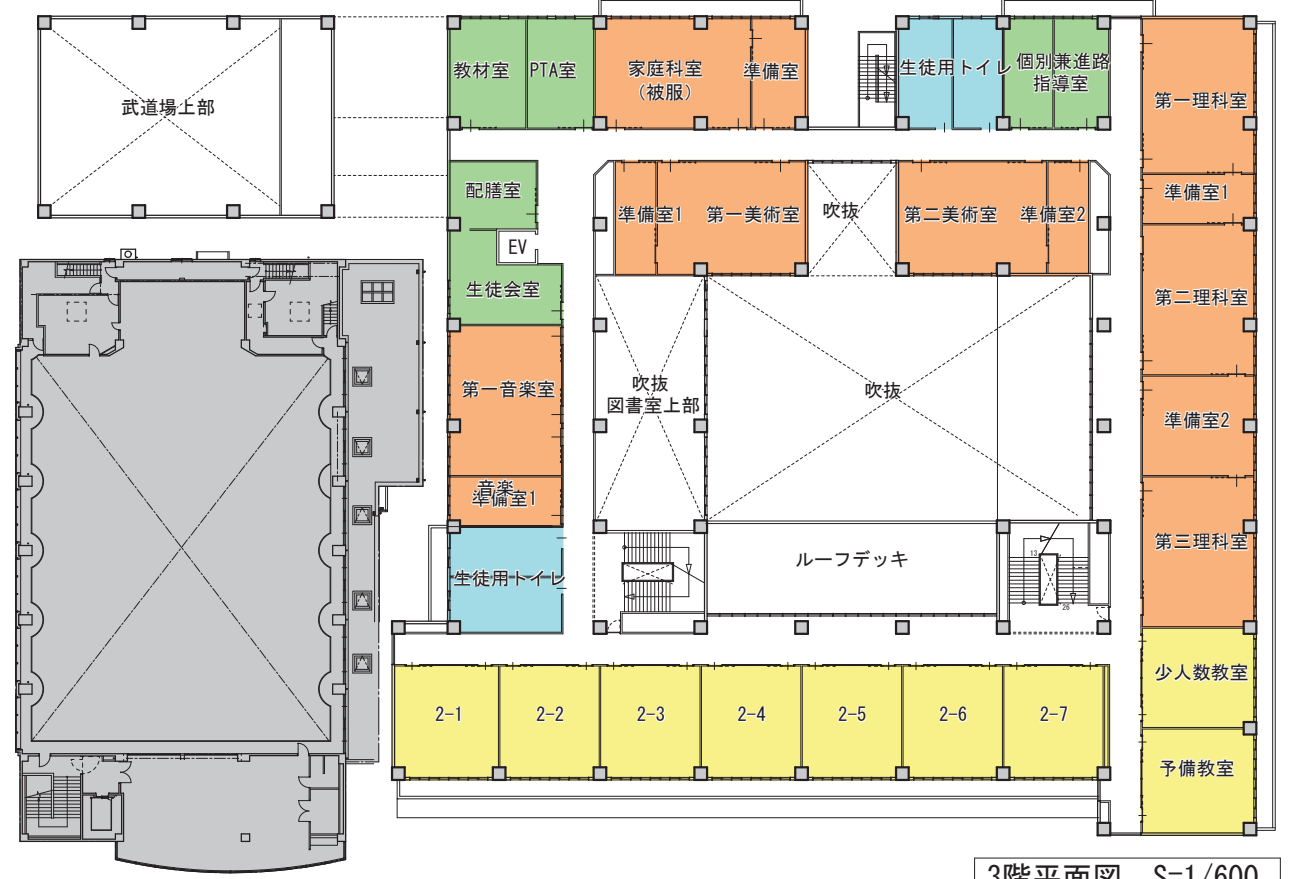
2階平面図 S=1/600



4階平面図 S=1/600

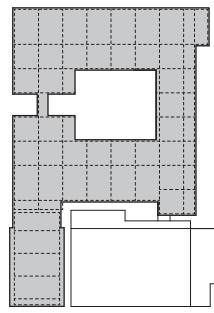


1階平面図 S=1/600

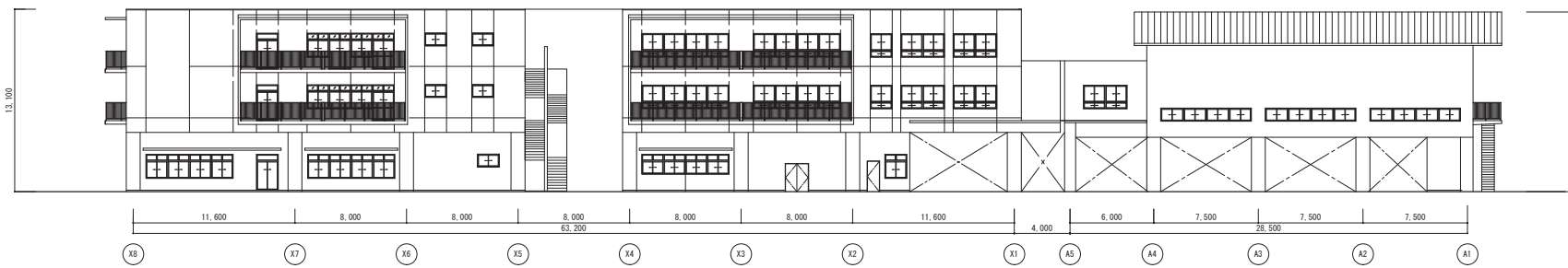
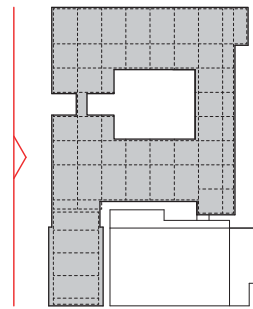


3階平面図 S=1/600

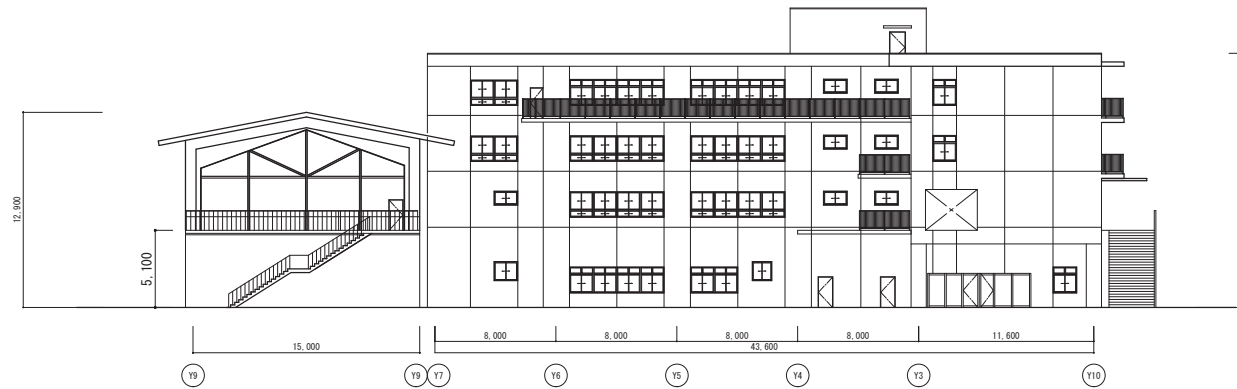
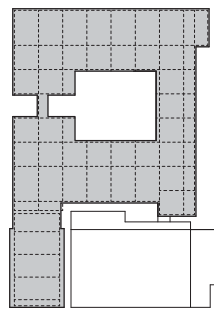
- 凡例**
- 普通教室
 - 特別支援
 - 特別教室
 - 管理諸室
 - 武道場
 - トイレ
 - 昇降口
 - 体育館棟
- 方位
-



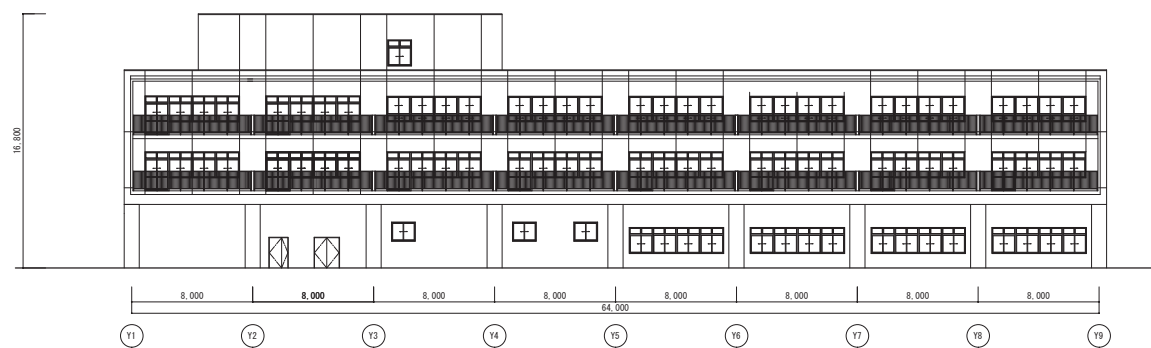
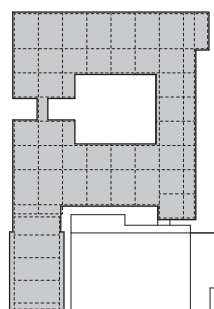
南側立面図 S=1/500



北側立面図 S=1/500



西側立面図 S=1/500

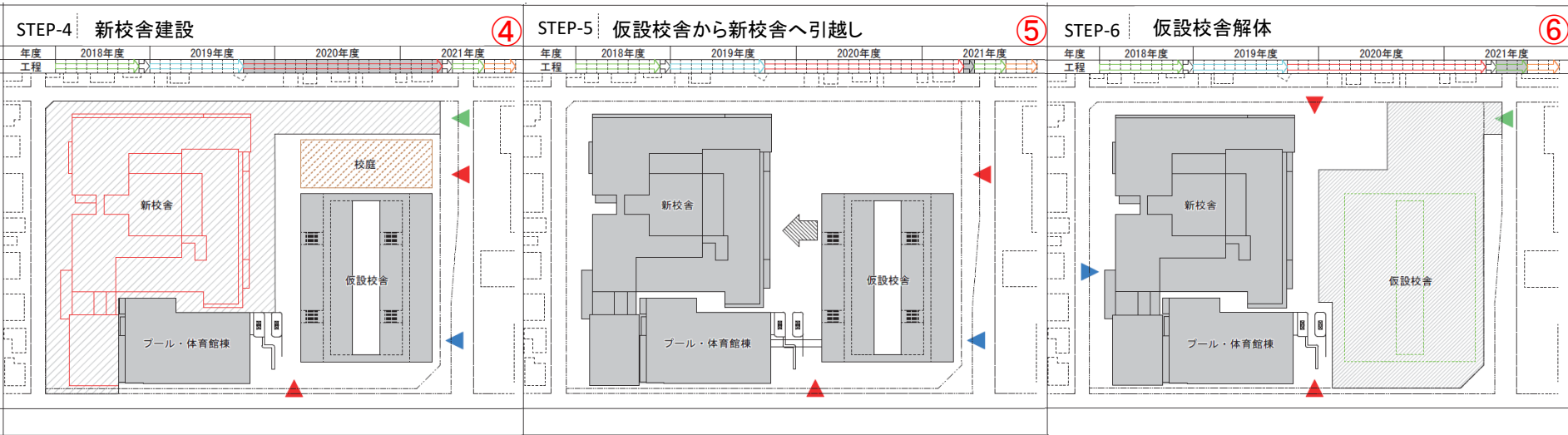
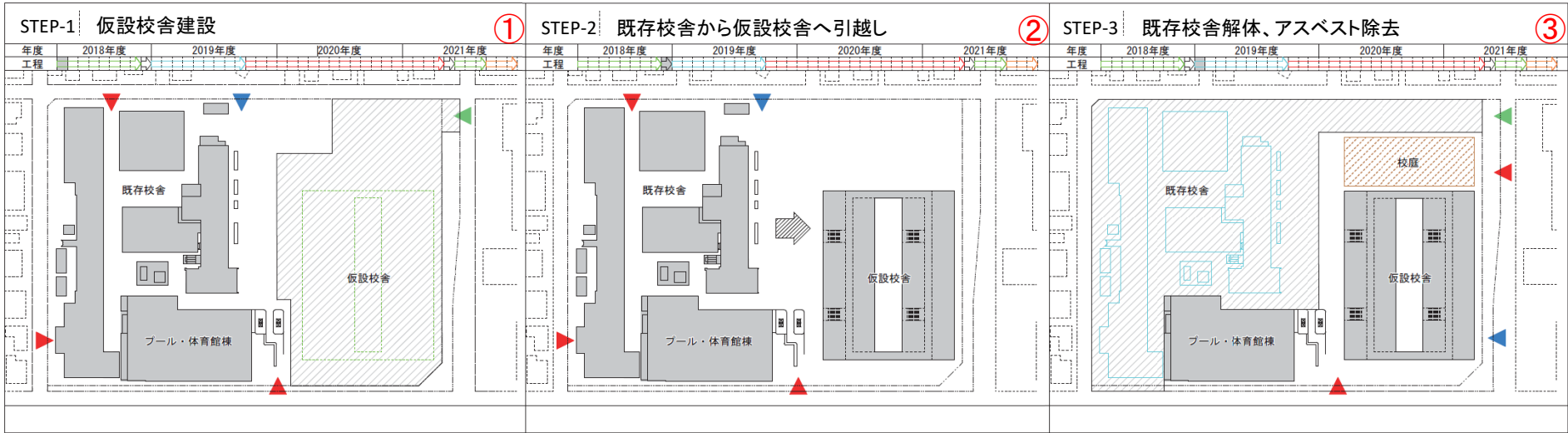


東側立面図 S=1/500

全 体 工 程	実施設計(2017)					初年度(2018)					2年度(2019)					3年度(2020)					4年度(2021)								
	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12	2	4	6	8	10	12
実施設計・監理委託	実施設計業務															監理業務委託													
仮設校舎建設・撤去						設計・計画通知 7ヶ月					仮設校舎建設 8ヶ月					賃貸借期間 28ヶ月					3ヶ月								
既存校舎解体						① →					9ヶ月										⑥ →								
本体工事						③ →					全体工事・18ヶ月					新校舎使用													
グラウンド・外構整備											④ →										6ヶ月								
引越						② (仮設校舎へ引越)															⑤ (新校舎へ引越)								
グラウンド使用	自校	通常使用										範囲を限定して使用																	
	近隣借用											部活動等の用地として近隣小学校、町田中央公園グラウンドを借用																	
	後田G											4ヶ月					6ヶ月					6ヶ月							

全体使用開始

- 凡例
- 既存校舎解体
 - 新校舎建設
 - 仮設校舎建設・解体
 - 利用校舎
 - 工事範囲
 - 校庭
 - ▶ 生徒動線
 - ▶ 車両動線
 - ▶ 工事車両動線

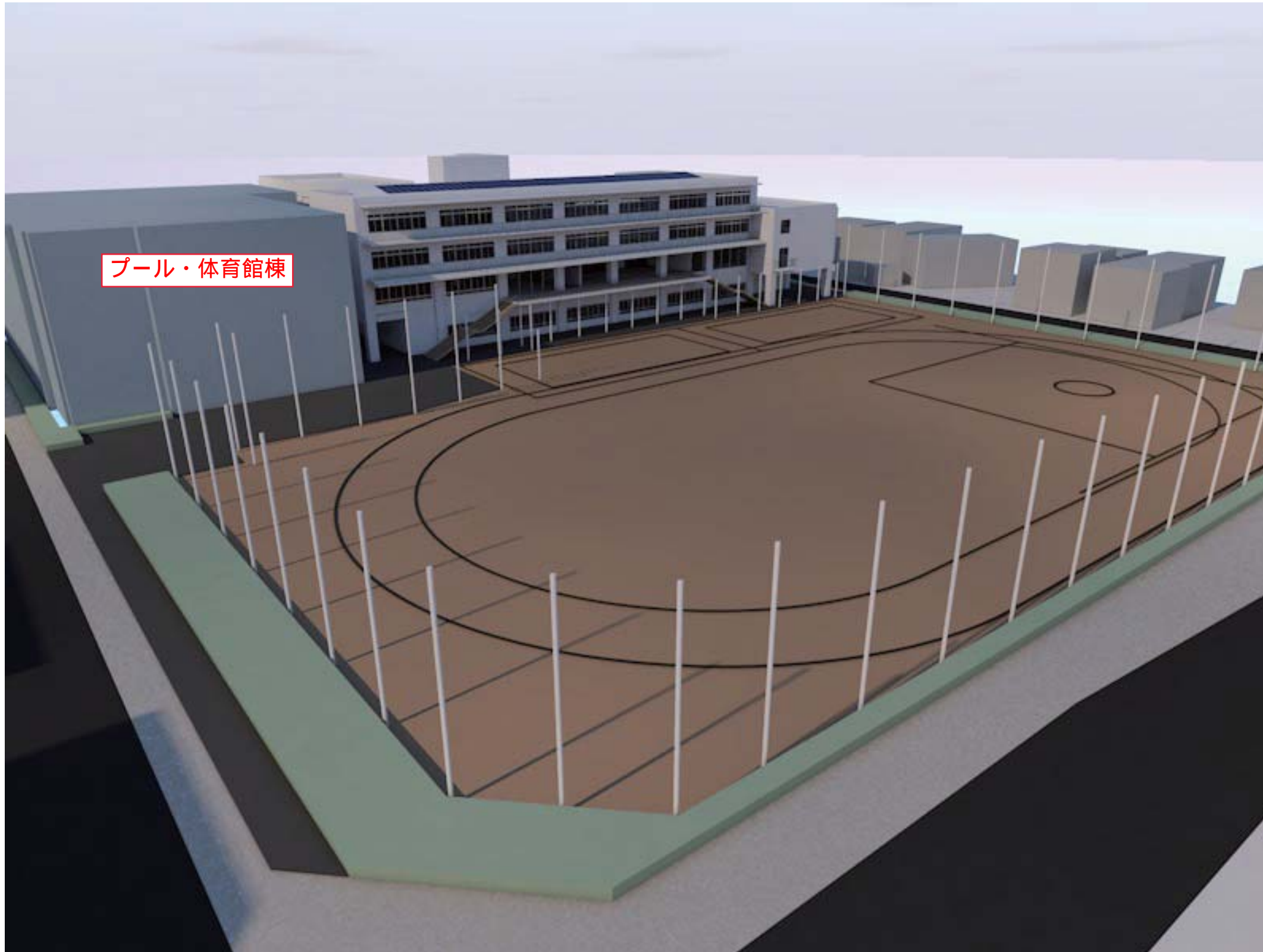




プール・体育館棟

イメージであり、今後の設計で変更する可能性があります。

パース : 鳥瞰図



プール・体育館棟

イメージであり、今後の設計で変更する可能性があります。

パース : 鳥瞰図



イメージであり、今後の設計で変更する可能性があります。

パース : 校庭より



イメージであり、今後の設計で変更する可能性があります。

パース : 通用門側より



イメージであり、今後の設計で変更する可能性があります。

パース : 正門側より



交流テラス